

道徳教育総合支援事業

始良市モラリティ・インプルーブメント推進事業

# 始良っ子の 道徳性を育むために (第1次提言)



平成26年4月

モラリティ・インプルーブメント・ミーティング

始良市教育委員会

## ■ はじめに

---

始良市が取り組んでいるモラリティ・インクルーブメント推進事業は、平成25年に制定された「始良市子育て基本条例」の具体化を図るもので、「確かな自立と公共に貢献する子供の育成」を目指し、学校における道德教育や、家庭・学校・地域の三者協働による道德教育の充実のために取り組むものです。

その取組の一環として、モラリティ・インクルーブメント・ミーティングでは、学校と家庭・地域の三者代表者による道德性を育むための協議会として、始良市の子供たちの道德性の現状と課題を踏まえて、目指すべき子供の姿を提言したり、子供たちの道德的実践を話題にしたりしていきます。

本年度、協議会では、始良市の子供たちの実態や事例を基に話し合いを重ね、道德性向上の指針となる提言をまとめました。この提言には、人と人がつながり、支え合い、きまりを守ることを大切にし、自分たちが生きる場所を愛し、そしてよりよい未来をみんなで作っていききたいという思いが託されています。

この提言を家庭・学校・地域が共有し、具体的に関わることができる基本的な内容として、真に三者が協働して道德的実践ができる子供を育むことができると願ってやみません。

そして、家庭・学校・地域の道德教育が充実することは、子供たちの道德的実践が広がり、思いやりに満ちた家庭、子供が生き生きと学ぶ学校、互いに支え合う地域づくり、「道德のまち始良市」の実現につながると信じています。

## ■ 「あいさつ」でつながるわたしたち

**1 「あいさつ」は、人と人をつなぐ大切なものです。あいさつを交わすと笑顔になります。自分から進んで気持ちよいあいさつをしていくことを大切にしましょう。**

始良市では、気持ちよい挨拶をする子供をよく見かけます。

幼稚園に登園するとき、迎える先生方に元気よく挨拶をする園児。横断歩道を渡るとき、停車してくれた運転手さんに振り向いて会釈をする小・中学生。朝、学校周辺のごみ拾いをしながら、すれ違う人たちに立ち止まって挨拶をする高校生。

その姿は、子供たちの道徳性のよさを実感するだけではなく、挨拶を受けた人も、すがすがしい気持ちになるものです。

挨拶は、「わたし」から「あなた」へと心を寄せる、人と人がつながる第一歩です。

不審者問題等もあり、誰にでも挨拶することは難しい時代になってきましたが、わたしたちは、それを乗り越え、気持ちよい挨拶をし合える人でありたいと思います。そのために、大人も子供も自分から進んで挨拶することに心がけたいものです。

◆ 時と場、相手によっても挨拶は変わりますが、まずは「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など基本的な挨拶を大切にしましょう。

◆ 家庭や学校でできても、それ以外の場所ではなかなかできないのが挨拶です。だからこそ、いつでも・どこでも・だれにでも、気持ちよい挨拶を進んでするよう心がけましょう。大人やお兄さん・お姉さんが、まずは手本となるよう心がけましょう。

◆ 明るい挨拶をすることで、自分も相手も元気になったり、すがすがしい気持ちになったりすることを共に感じ合いましょう。

## ■ 支えられて生きていることに感謝するわたしたち

**2 今、わたしが生活できるのは、わたしを支えてくれる多くの人がいるからです。感謝する心と反省する心を大切にし、わたしの生き方を見つめ直しましょう。**

当たり前のように過ごしている毎日の中で、どれだけの人に自分は支えられているのでしょうか。「わたし」に近い人から遠い人まで、感謝のアンテナの感度を上げていくと、自分が多くの人に支えられていることに気づき、心から「ありがとう」を伝えたくくなります。

子供たちは、成長に応じて自分以外の人への存在のありがたさに気づいていきます。そして、自分を諭してくれる人や注意をしてくれる人のことも、自分のことを思ってくれる人として感謝する心をもってほしいものです。反省する心をもって人に向き合うと、言われたことが心に響きます。相手も「自分を受け入れてくれたこと」に感謝の気持ちが芽生えるでしょう。

私たちは、お互いを支え合うことで、成長していきます。感謝する心と反省する心を大切にしたいものです。

◆ まずは、家庭の中で「ありがとう」と言ってみましょう。例えば、手伝ってもらったとき、褒めることも大切です。「ありがとう」の言葉で感謝の気持ちを伝えましょう。笑顔と握手・ハイタッチ・ハグなどをプラスすることもいいでしょう。

◆ 注意されたときに、素直に「ごめんなさい」「ありがとう」と言える人でありたいと思います。注意されると、不快になるときもありますが、まずは、一呼吸して自分を振り返りましょう。相手の思いやりや優しさを感じることでしょう。

◆ 自分を支えてくれている周りの人々に、感謝の気持ちを伝えましょう。家族や先生、友達、地域の方々のありがたさを感じることでしょう。

## ■ ルールやマナーを守るわたしたち

### 3 わたしたち一人一人が家庭・学校・地域のルールやマナーの大切さを理解し、ルールやマナーをみんなで守り、暮らしやすい家庭・学校・地域をつくりましょう。

わたしたちが安心して暮らせるのは、みんなが社会のルールやマナーを守っているからです。わたしたちは、身の回りのことを自分でできるようになるとともに、社会の一員としてルールやマナーを進んで守る人にならなければなりません。

子供たちが、ルールやマナーに最初に出会うのは家庭です。家庭で決めたルールを家族みんなで守ること、守ろうと努めること、守れなかったのはどうしてかを話し合うことなど、ルールやマナーを守る意識を高めるには、成長に応じた丁寧な関わりが必要です。

学校・地域にルールやマナーがあるのは、自分だけがよければいいのではなく、みんながよりよく生活できるためです。

みんながルールやマナーを守ってはじめて、暮らしやすい社会が実現するのです。もちろん、ルールやマナーは見直されることもあります。まずは、その目的を考えることを大切にしましょう。

◆ 家庭で守ることが難しいルールに、ゲーム機、パソコン、携帯電話やスマートフォンの使い方があります。「使用時間、使用場所を決める」など家族で納得したルールを共有し、守っていきましょう。

◆ ルールやマナーを進んで守ることもあれば、守れないこともあるのがわたしたちです。お互いに声を掛け合い共に守っていくように努めるとともに、見届けも大切にしましょう。

◆ 学校や地域という社会の中で、「靴やスリッパを揃える」「廊下を走らない」など、ルールやマナーの必要性を理解し、守るべきことはみんなで守りましょう。

## ■ ふるさとを愛し、ふるさとに学ぶわたしたち

**4 あなたとわたしが住んでいる始良市は、私たちの心を育ててくれるふるさとです。まずは、知ること、そして関わることから始めましょう。**

始良市は、歴史と文化、豊かな自然が多く、落ち着いた雰囲気を持つ大変暮らしやすいまちです。また、交通の利便性も高く、今後も更に発展していくことが期待されるまちです。

このような始良市で暮らすわたしたちは、大変恵まれています。この始良市のよさを持続させ、そして、未来へとよりよく発展させていくのは、ここで暮らし成長していく子供たちです。子供たちには、地域のよさを知り、もっと好きになること、よりよくしようと思うこと、世代を超えた付き合いをすることなど、地域の一員として大切にしたいことを自覚してほしいと思います。

子供たちは、地域の多様な体験を通して、進んで地域に関わろうとする人に成長していくことでしょう。そして、郷土を愛する心を、国を愛する心へと発展させ、日本人としての誇りをもって、真の国際人として自立していくことを願います。

◆ 地域には、子供たちを見守ってくれる人がいます。感謝の気持ちを忘れずに過ごしましょう。さらに、地域には、素晴らしい風景がたくさんあります。価値ある伝統行事もあります。地域をもっと見つめてみましょう。

◆ 子供たちは、自ら計画し運営したり、大人と一緒に活動したりする行事を通して、多くのことを学び成長します。子供会の行事を、よりよいものにしていきましょう。

◆ 地域の活動へ参加しましょう。塾や習い事、少年団活動に部活動などもありますが、時間を見つけてみましょう。そして、参加回数を少しでも増やす努力をしましょう。

## ■おわりに

平成25年度モラリティ・インプルーブメント・ミーティングにおいて、社会の動向や子供たちの実態や事例を基に、数多くある道德の内容の中から、以下の4つの提言をまとめました。

- 1 挨拶に関すること
- 2 感謝と反省に関すること
- 3 規範意識や公德心に関すること
- 4 郷土愛に関すること

協議を重ねる中で、「大人の姿から子供は学んでいる」という意見が何度も出されました。この4つの提言も、子供のみならず、大人であるわたしたちにとっても道德性を高めるための指針としたいものです。子供も大人も、家庭も学校も地域もみんなが幸せになるために、一人一人が道德性を高めることに心がけたいものです。

始良市のいろいろな場所で、挨拶を交わす姿、ありがとう・ごめんなさいを伝え合う姿、ルールやマナーを守る姿、地域行事に参加する姿が数多く見られることに期待し、本提言といたします。

(平成25年度モラリティ・インプルーブメント・ミーティング)

平成25年度モラリティ・インプルーブメント・ミーティング委員

清水哲也	始良市立蒲生中学校 校長
柘原美恵	始良市社会教育委員／地域代表者
佐藤秀正	始良市立柘城小学校 校長
野村義文	鹿児島県立加治木高等学校 教頭
花田さつき	始良市PTA連絡協議会副会長
平川克寛	始良市立山田小学校 教頭
福田朋子	始良市PTA連絡協議会副会長
和田幸一郎	前始良市立建昌幼稚園 園長 (現志布志市教育委員会教育長)

50音順、敬称略、平成26年3月

